

ボランティアいろいろ..

ボランティア活動紹介...こんなボランティア活動も



ボランティアの芽を育む.....

桃太郎といこう♪鬼退治~!!

春のボランティア・ジュニア・スクール

主催:大阪狭山市社会福祉協議会
共済:大阪狭山市ボランティアグループ連絡会
協力:特別「養護老人ホーム ファボーレ

平成25年3月20日(水)

春のジュニアボランティアスクールとは

今春も次世代ボランティア育成の講座に12名の児童が参加。子どもたちが将来主体的なボランティア活動に取り組めるようグループ活動を通してコミュニケーション能力の向上をはかり、ボランティア活動の楽しさを体験してもらうことを目的に開催するジュニアボランティアスクールです。

今年のテーマは、『桃太郎といこう!♪鬼退治~!!』。午前に習得の五つのボランティアツールを、午後からの特別養護老人施設訪問で、学んだ手話を桃太郎の童謡に乗せて、入居者と一緒に楽しむボランティア企画です。



午後の体験発表風景。画像をクリックすると動画を見ることができます。
(手話)

《お願い》画像の上に「[クリックして動画を鑑賞](#)」と出ている部分については、キーボードの、「Ctrl」を左手でおして、右手でマウスをクリックしてください。30秒間だけ残念ながら宣伝が流れますが、しばらく待ってください。30秒後にで動画が現れます。

午前9時定刻に講座開講宣言。各ボランティアグループの挨拶。に引き続き、シェアリングネイチャーにより、準備運動を兼ねた手遊びが、始まる。朝一番の講座とあって、声が小さく、元気が遠慮がちだったが、さすが指導者の指導よろしくを得て、段々と盛り上がり、講座のエンジンが満開。



次は「たんぼぼ」グループによる、「発声練習」。声のたよりの朗読テープ(見本)を聴きながら、発声練習の開始。子どもたちのなじみのある言葉を使っての発声。……………
 「大きく口を開けて!」「大きな声で!」
 「恥ずかしながら!」「下を見ないで!」
 「おなかに力を入れて!」



画像をクリックすると動画を見ることが

次は、点字・点訳グループにより、自分の名札を点字でつくる作業講座です。参考資料をみながら、点字の小道具を使って、自分の名字の点字を完成。透明な点字名札を、名前の上に貼り付け完成。小さな道具を使っての手作業で、時間と、根気と粘りを体験。



画像をクリックして動画をみてください。



画像をクリックして動画を鑑

さやまおはなしの会の『桃太郎』の紙芝居。参加児童12名に、多場面をテキパキと分担。面白おかしく説明指導。短い時間での子どもののせての講座。



折り紙倶楽部による鶴作成。老人ホームの皆さんへの土産です。普通の鶴の織り方と違う「飛ぶ」鶴の作成。悪戦苦闘の児童もいました。



次にMVSグループによるお面鬼と桃の面作り。この面をつけての、発表となるが、体験発表が一段と盛り上がりました。



画像をクリックして動画を鑑賞

午前最後の講座は、福祉の時間です。自助具の皆さんによる、体の不自由な方が使う道具作りに挑戦。ドライバーの熱を使って、ゴム管をあたため、クリップに取り付ける作業。

同時作業は、ゆずりはグループによる、「車イスとアイマスク体験」を公民館駐車場とスロープを使って体験。真剣なまなざしで説明を聞き、車イスとアイマスクを体験し、体の不自由な方の動きを体験。

ボランティア・スキル取材の印象



午後の体験発表でのお土産を渡し握手する場面です。
入所者の皆さんも拍手で、喜んでくださいました。

春休み直前の1日を使っただけで、行事ですが、短い時間と少ないスタッフのボランティア活動に充実感と感動を体得しました。

次世代のボランティアの芽を育む、この行事を支えるのは、大阪狭山市ボランティアグループ連絡会14グループの横の連携で提供された各スタッフの持つそれぞれ熟達した素晴らしいボランティア・スキルがあっただけこそ実現したものです。

受講した子どもたちの、近い将来でのボランティア活動を期待します。

